

いきいき弥小っ子

◎2学期に行ったアンケート結果をお知らせします

2学期に実施した学校評価アンケート結果についてお知らせいたします。数値はアンケートそれぞれの項目に対して「そうだ」「どちらかというそうだ」と回答した、いわゆる肯定評価の割合となります。

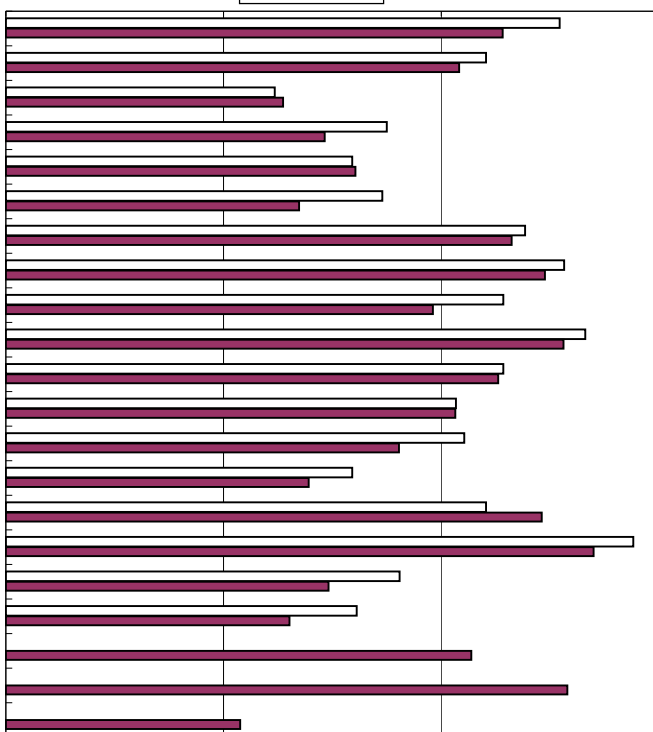
みんなの学校生活調べ

□ 7月調査
■ 12月調査

肯定割合(%)
目標85%

70 80 90 100

学校が楽しい。
授業がよく分かる。
授業中、自分の考えをみんなに伝えることができるようになってきている。
チャレンジテストやワークテストに向けて、計画的に学習している。
毎日、決められた時間、家庭学習に取り組んでいる。
授業が始まる前に席について待っている。
発言するときは「～です。」と最後まで話している。
名前を呼ばれたときは、「はい」と返事をしている。
話す人をよく見て話を聞いている。
学級やフレッシュペアの友達と助け合ったり、仲良くしたりしている。
友達や周りの人の気持ちを考えながら行動することができる。
体を動かす遊びが好きだ。(している。)
体育の学習でいろいろな動きができるようになってきている。
十分なすいみん時間をとっている。(十分なすいみん時間とは1・2年9～10時間 3・4年9時間 5・6年8時間です。)
朝ごはんや夕ごはんの後に歯みがきをしている。
朝ごはんを毎日食べている。
自分から進んであいさつをしている。
学校の月ごとのめあてを考えて生活している。
授業が楽しい。
授業を通して、できることや知っていることが増えた。
授業中、自分の考えを伝えたい、発言したいと思うようになってきている。



子どもたちの2学期アンケートでは、1学期に比べ、全体的に横ばい、もしくは、やや数値が下がっています。学習の内容が難しくなったり、子どもたちが考える行動のレベルが上がっていたりするのも要因として考えられます。これからの指導に役立てていきます。

「学校が楽しい」と感じる児童の割合が95%→93%とやや下がっています。学級担任を中心に個々の子どもたちの心の内面を見つめ、子どもたちの心に寄り添った指導を継続していきます。

「家庭学習の取組」や「自分の考えを伝えること」については、少し1学期よりよくなっています。子どもたちに家庭学習の習慣が定着しつつあります。学校では、かかわり合いの中で思考力・表現力を高めていく授業づくりを進めているところです。今後も算数を中心とした学力向上の取組を進めていきます。グラフの下3項目については、2学期新規にアンケート調査を行ったものです。授業を通してできることや知っていることが増えることが楽しさにつながっていることが分かります。発言意欲をいっそう高めるように指導していきます。

「かかわり」については、異学年交流を中心にかかわる力を育てています。友達と気持ちよく過ごすためのかかわりの仕方を示したり考えさせたりして、実際に行動できるようにサポートしていきます。

「あいさつ」については、今後も粘り強い取組が必要と考えています。全校集会や道徳の時間等において内面化を図り、校内であいさつを意識化できるような実践を進めています。

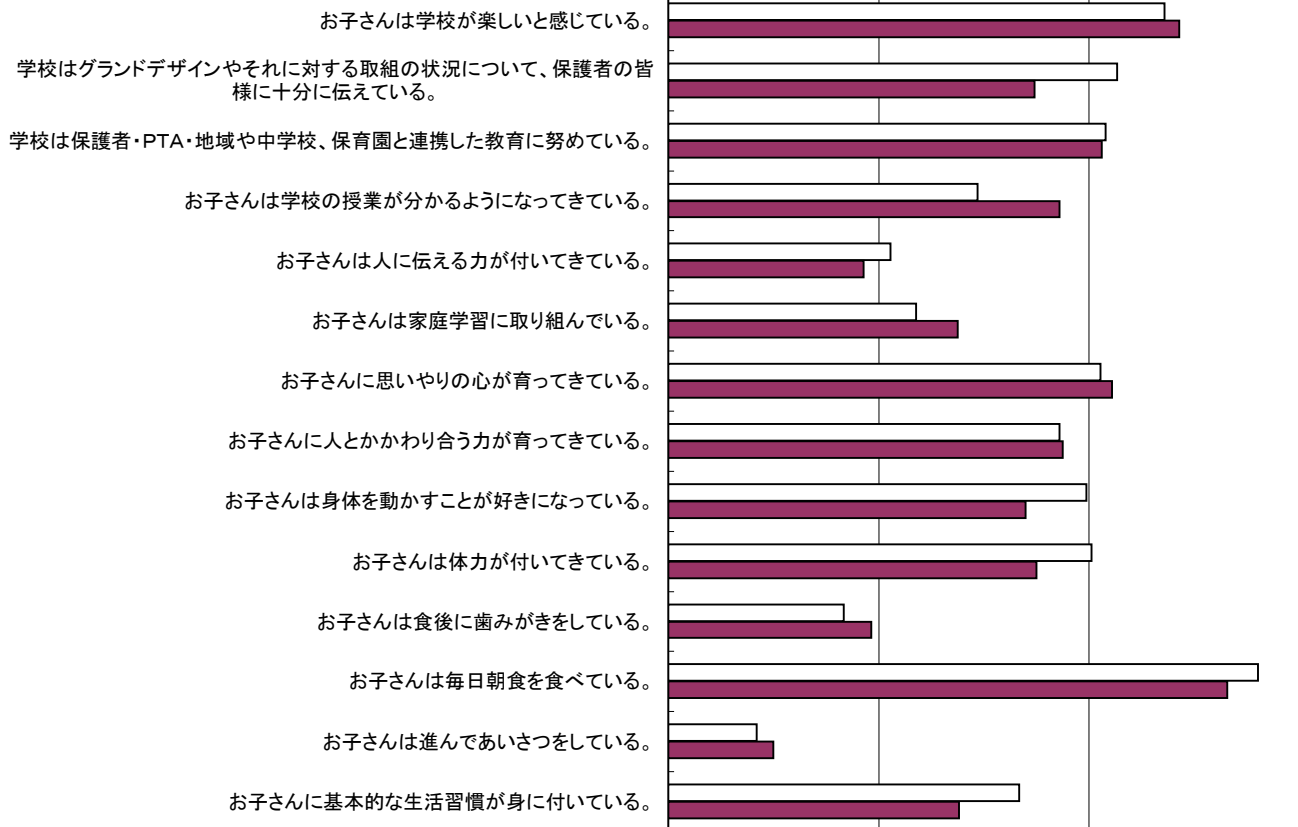
「歯みがき」についての意識は向上してきています。保育園・中学校との連携という視点からも、より一層歯みがき指導に重点を置いた取組を進めていきます。

保護者アンケート

□ 7月調査
■ 12月調査

肯定割合(%)

70 80 目標85% 90 100



保護者の皆様からは「学校が楽しい」と感じる子どもの割合が、1学期よりもよい評価をいただきました。ありがとうございます。これからも、アンケートや聴き取りを通して子どもたちの思いや悩みを知り、対応や指導に当たっていきたくと考えています。

「分かる授業」や「家庭学習の取組」についても、1学期の数値を上回り、子どもたちの成長を感じていただけることがありがたいです。子どもたちのがんばりをご家庭でも励ましたり、声をかけたりしてくださっていることと思います。今後とも協力をよろしくお願いいたします。

「思いやり」や「かかわり」については、どちらの項目もやや数値がよくなっています。よりよい人間関係を築く場として、道徳だけではなく、学んだことを実践していく異学年交流や学級活動をいっそう充実させていきます。

「体力向上」の取組についての評価がやや1学期を下回りました。学校では、マラソンやなわとび、遊びタイムなど子どもたちの体を動かす活動をサポートするように取り組んでいます。3学期は今月実施した「わかばフレンズ大なわ大会」に向けて、わかばフレンズでの大なわ練習を通して体を動かしていました。「歯みがき」についての評価も伸びています。ご家庭でも声かけをしてくださっている成果と考えています。ありがとうございます。

「あいさつ」についての評価は1学期より少し数値がよくなっています。しかし、職員アンケートの評価では1学期より下がっています。あいさつの大切さ、あいさつのよさを内面から意識させ、あいさつをしようとする態度を育てていこうと、職員と子どもたちが共にあいさつに力を入れて取り組んでいるところです。

これからも、子どもたちの学校での様々な活動をおたより等で保護者の皆様、地域の皆様に伝えていきます。

今回のアンケートでも、貴重なご意見をありがとうございました。みなさんからいただいたご意見は、3学期からの教育活動に生かすようにしております。今回はその中から、いくつかのご意見を紹介いたします。

(来年度に向けての検討課題とさせていただくご意見もあります。)

分類	ご意見の要旨	学校から
学び	全体的に、人の話を分かろうとする力(姿勢)が今ひとつな気がする。	◎弥彦小学校では、今年度かかわり合いを重視した授業改善に取り組んできました。かかわり合いの中で、他者の考えを聴き、自分の考えを伝えることに力を入れた取組を進めてきました。成果が少しずつ子どもたちの姿となって表れています。学校の重点目標の「かかわり合い、伝え合う力を高める」ことを目指して、これからも継続して取組を進めていきます。
思いやり	校内だけでなく、学校帰りや休みの日など日常的に年齢が下の子を思いやるような指導を家庭・学校で。	◎道徳の授業や日常生活の場で「思いやり(相手を大切にする言動)」の指導を行っています。が、成果が出るのに個人差があります。根気よく意図的、継続的に長い目で育てていかなければと考えています。相手から思いやりの行動を受けた時に、「今度は自分もそうしてみよう!」という気持ちにさせ、それが表れたときに大いに褒めたり、みんなから認められる場をつくるようにしていきます。 ◎よりよい人間関係を築く場として、道徳だけではなく、学んだことを実践していく異学年交流や学級活動を充実させていきます。上学年には、「相手の立場に立って言動する思いやり」や「責任感」、下学年には、「上級生を敬う心」を育てるためのスキルプログラムを職員研修で深めていきます。相手を思いやる具体的な行動のスキルを振り返りカードに取り入れるなどして、年間指導計画に位置付けて全校で取り組むようにしていきます。
	子どもたちの態度、言動などがグランドデザインにあるような姿と離れている。もう少し人を思いやる心をもってほしい。	
	上級生を敬う気持ちも育ててほしい。	
根っこ	校内で児童が一人もあいさつしてくれない。あいさつできる子を。	◎「あいさつ」についてのたくさんのご意見をありがとうございます。学校でもあいさつについては重点的な取組が必要であると考え、3学期にはその取組を強化しています。先日、いきいき弥小っ子だより「ねっこ」でお知らせしたような「あいさつ集会」を開きました。「あいさつするとどんないいことがあるのか」を気持ちの面から考え、あいさつをしようとする気持ちを高めています。また、あいさつ運動やあいさつチェックも行い、自分のあいさつを振り返り、よりよいあいさつができるようにしていきます。 ◎あいさつに関しては、学校と家庭で連携して取り組むことで効果があがると言われています。ご家庭でもあいさつの習慣化を一層図っていただければありがたく存じます。学校で行うこのような取組であいさつがどこにいても習慣化されるようにしていきたいと思っています。あいさつチェックカードに「家の人とあいさつを元気にかわした」という項目をつくり、ご家庭でのあいさつ習慣もいっそう付くようにしていきたいと思っています。家庭でも学校でもあいさつができる子どもに育てていきたいと考えています。 ◎教員のあいさつについては、普段も行うように努めていますが、いっそう気を付けていきたいと思えます。
	地区内で児童のあいさつがない。	
	大人の方からあいさつしても返してくれない子がたくさん見られる。特に高学年。	
	先生の中でも、あいさつをしないで素通りする方がいる。	
	進んであいさつできるようにするにはどうしたらよいのか。	
	校内で、低学年の子どもたちは元気にあいさつしてくれるが、高学年の子どもたちのあいさつがあまりない。	

分類	ご意見の要旨	学校から
学校運営	1学級40人では多すぎて、伝えたいことも伝わりづらい。来年度は3学級にしてほしい。	◎3月の授業参観後の学年懇談会で、校長より学級編制について説明をいたします。 学級を増やすことは教員の配当がないと検討することができない現状があります。
	4年生になったら3学級にしてほしい。今のままでは人数が多すぎ、個別指導ができていない。学力の低下が心配。個別指導ができる環境にしてほしい。	
	国語、算数等は難しくなっているのに、理解している子と理解していない子に分けて授業を行ってほしい。長期休みの補習授業でもよい。	◎24年度に向けて、個に応じた学習指導の在り方（学校としてのシステムづくり）を検討中です。今後お知らせしていくことになります。
	3年生の一学級の人数がやっぱり多すぎる。学級の差がありすぎ、勉強面でも。先生も大変でしょうが…。	
学校行事	文化祭が子どもとゆっくり見て回る時間がなかった。	◎24年度、文化祭の在り方について検討していきます。
	文化祭では、ゆっくり作品を見る時間もなく、パタパタと…。	
	弥小フェスティバルは平日でなかなか行けないので、文化祭と一緒にできないか。	◎内容的にも、会場的にも現状では難しい状況です。どうぞご理解ください。
学校施設	低学年のトイレが「汚い」、「暗い」、「虫がいる」。もっと入りやすい環境に。	◎すみません。普段の環境整備に努めます。25年度に改修予定です。
	3年生から雨具などのかける場所が少ない。玄関にあるものは高さが足りないため、長いものを掛けられません。	◎なかなかスペースがなく、難しい状況ですが、現在検討中です。
保健	歯科検診の結果があまり正しくないように思う。少し不安を感じた。	◎歯科医院での事後の処置、ありがとうございます。以前ほけんだよりでもお伝えしたとおり、検診の特質上、うたがわしいものはすべてチェックされます。最終判断は受診していただくことで結果が出るようになりますので、ご理解ください。ご指摘の内容については、学校歯科医に伝えます。
	歯科検診結果と受診した歯科医の見解が違っていた。	